



▲たかはしさん（松江在住）は、昨年11～12月にやすぎ懐古館一風亭で凱旋個展を開催。

絶妙なバランスのたかはしワールド

たかはしちかえさん

（イラストレーター・安来出身）



安来市内で凱旋個展

スリランカ、カレ、パレーポール・など、いろいろなことに興味が尽きない安来市出身のイラストレーター・たかはしちかえさん。描く作品は、彼女の興味を反映してか、アクリル絵の具の鮮やかな色使いが特徴です。多色なのに全体がまとまって見える不思議な世界です。

「描きたいと思うものを描いています。横写ではないので、テーマのイメージを膨ら

ませ、仕上がったときのカラーは頭の中で決めてしまします」と語るたかはしさん。「学生時代は友達や先生の似顔絵を描くのが好きでした。社会人になってからも、依頼されたら名刺のイラストを描く程度でした」と、本格的にイラストを描くようになったのはここ数年と明かします。

2016年にある書籍のイラストを担当した前後から、旅で訪れた外国や住んでいる松江をテーマにしたイラストを描きためて、一昨年12月に初めて個展を開催。昨年11月には出身地の安来市内で、地元の方々にイラストを初披露しました。

元気になる絵を

たかはしさんのアクリル画はまず、下書きの上に深みを出すためのベタ塗りを行います。その上に仕上げの色を重ね塗りし、カラーに厚みをだしていきます。

「細かい作業が好きで、頭でイメージしている図柄と色を紙上に興じていくのが楽しい」と語るたかはしさんは、昼間の仕事が終わってからの



▲安来での初個展にあたり、「ふるさと」をテーマにしたイラストを描きおりました。

深夜に描くと言い、「ち密な細かい作業が好きです」と明かします。

彼女の作品にはたかさんの動植物が登場。見ている人を笑顔にしそうなタッチで描かれています。韓国に関する本を出版予定のフリーアナウンサーおがつつちは、「彼女のイラストを見たときビビッと感じ、表紙の挿絵をお願いしました。韓国のビビンバのように色々な素材が盛り込まれている素敵なイラストになりました」と話します。

今後はどんなイラストを描いていきますかという問いに、「みんなが見て元気になれるような絵を描いていきたい」と語るたかはしさん。「お世話になった皆さんへの恩返しの意味も込めています」。

編集後記

安来市の人口と世帯数 H30.12.31現在

人口合計 / 38,962人
(男:18,672人 女:20,290人)
世帯数 / 14,351世帯

▼年明け早々のアルテピアは華やかな振り袖姿の人々で賑わいます。毎年、広報紙に掲載する成人式。数年前のものをみると当時の自分の写真が載っていました。あの頃は、まさか自分が成人式の取材をすることになるとは思ってもいませんでした。今年の新成人の中にも私と同じような人が現れるかもしれません(旬)
▼布部小の椿油づくりの取材を開始した9月は深緑の葉ばかり。今は花が咲く季節になりました。今後は長期にわたり椿と接した児童たちは多くの経験をしたことでしょう。理科・社会科・家庭科など、各工程にはあらゆる分野の要素が含まれています。小さな瓶に入られた油は、鉛色の宝石のようでした(9)

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用